



第132周年 甲府中学・甲府一高同窓会



記念講演会・総会・懇親会のご案内

▼実行委員会

当番幹事	昭和55年卒・平成9年卒
実行委員長	松本 太郎(昭和55年卒)
事務局	〒400-0025 甲府市朝日3-7-3甲府朝日3郵便局3F 電話 055-251-6439 FAX055-251-7993 Email:kf1st_s55@yahoo.co.jp
公式ホームページ	http://kf1st55.web.fc2.com/

▼記念講演会・総会・懇親会

開催日時	平成24年5月19日(土) 記念講演会PM1:00 総会:2:00 懇親会:3:00
場所	甲府富士屋ホテル

●テーマ「がんばろう日本」協賛 「和と絆 ～ 一步前に踏み出そう！」

舞鶴城の地で甲府中学として始まり、本年で131周年の歴史を持つ母校「甲府一高」。

私たち昭和55年卒は、甲府学区総合選抜が4校に改編された年に入学しました。入学直後の「講堂」での伝統の応援練習は、「一高魂」を体に刻み込む強烈な体験でした。そして、昭和20年7月の空襲を経ても現存していた「本館校舎」で「日新鐘」の音を聞いて学び、小諸までの105キロの道のりを歩き、3年間の高校生活を送るうち、各自がそれぞれの母校愛を持った「一高生」に変貌していったように思います。

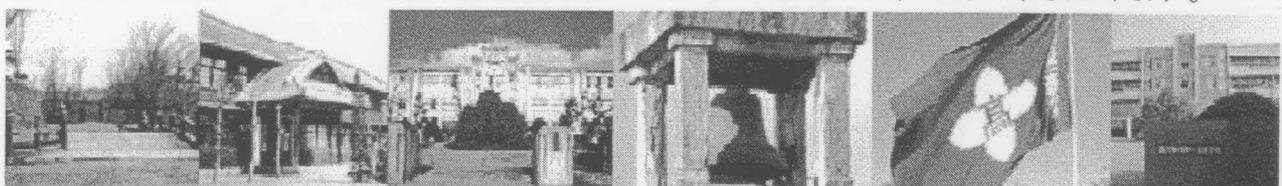
そのような私たちが、来年は2つの方針をもって、同窓会の幹事の大役に取り組ませていただきたいと思っています。それは、コンパクトとチャリティという「2つのC」です。

第一のCであるコンパクトとは、長引く不況と東日本大震災の影響もあり、無駄を排し、出来る限りのコンパクトな運営を目指したいということです。しかも、質素でありながら、大家族のような「和」と「絆」あふれるものになりたいと思っています。

第二のCであるチャリティとは、本年3月11日に発生した「東日本大震災」への支援をしたいということです。今回の震災は、われわれ日本人が本来持っていた、親と子・夫婦や家族の結束、隣人への思いやりや助け合う気持ち、いわゆる「和」の精神や「絆」を再認識する契機でもあったと思います。いまだ、被災地では復旧もままならず、悲しみの中不自由な生活を続けられている皆様もおられる中、われわれに出来ることは限られるわけですが、被災者が「一步前に踏み出す」契機になることを考え、活動に反映して行きたいとも考えています。母校や同窓会本体への支援はもちろんのことですが、あわせて被災地への支援も行うことが、私たち同窓会活動も、「一步前に踏み出す」ことに繋がり、より意義深いものとなるのではないかと思います。

ちょうど、私たち55年卒の同級生が、東北大学教授で災害の専門家・今村文彦君であり、彼の指導を受けつつ、同窓会の当日記念講演もお願いしております。

ぜひ東京同窓会の方々にも、ご支援と当日のご参加の程を心よりお願い申し上げます。



鶴城

甲府中学

一高旧校舎

日新鐘

校旗

一高現校舎